



## 「うちの福津弁」

父：靴ひもがほどけとるぞ。  
子：あ、本当だ。  
父：はよ、きびりんしゃい。



自治会長にさまざまな案件を相談してもその場で流され、前向きに検討してもらおう事が出来ません。  
せめて、役員会で議論してほしいです。全ては自治会長のさじ加減のような気もしますが、自治会長への不満の声をあげているのです。が、どうしたら良いのでしょうか。（匿名希望さん）

自治会は、住民同士の親睦や福祉の増進、防犯、防災対策など、さまざまな活動をしています。自治会長の役割や自治会の意思決定の方法は、一般的に会則などで定められていて、

その内容は自治会ごとに異なります。  
まずは、お住まいの組で話し合い、組長から自治会長に相談するなど、課題を共有してみてもどうでしょうか。また、自治会運営に対する役員の立場は重要ですが、地域によっては担い手が少なく、一部の人が負担がかかっていることがあります。  
さらに、たとえ良い提案があっても、それを実行するためには、多くの人の協力が必要です。住民一人一人が地域活動の当事者として、声を出し、力を発揮していただきたいと思います。

とんちの天才だった又ゼーさんの話は何百

思います。  
市内でよく見かける彼は誰？  
福津に引越してきて1年が過ぎました。海、山、豊かな自然がたくさんあるのに、利便性も備えていてとても生活しやすいです。  
1つ質問ですが、市内でよく見かける彼は誰なのでしょう。気になるので教えてください。（Jessicaさん／福岡駅東／39歳）  
図書館カードやJR福岡駅の駅名標などに登場する彼は「又ゼーさん」といって、旧福岡町のイメージキャラクターでした。福岡駅前には、又ゼー通り商店街という商店街もあるように今も地域で愛されています。

ただ、夜間の自習などを想定した照明の配置にはなっていません。

宮司コミュニティセンターは利用時間22時までとありますが、自習ができるのか教えてください。（福津市通勤さん／市外／32歳）  
宮司コミュニティセンターのロビーと中庭ポーチ部分には、テーブルや椅子などの備品を設置して、開館時間中は自由に利用することができます。

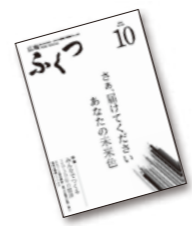
は、現在、検討しているところですが、

ので、一度、現地を確認することをお勧めします。  
ペットと一緒に避難所に行ける？  
台風などで自主避難をするときは、ペットと一緒に避難所に行くことは可能でしょうか？（M・Mさん）  
ふくとびあに関しては、ペットはケージに入れて1階ロビーに置いてもらうことになっています。  
また、皆さんが避難する場所は2階の和室となっておりますが、動物アレルギーの人もいるためこのような対応をしています。  
なお、ペット用の餌とトイレを準備することはできませんので、自己管理をお願いします。他の施設については、現在、検討しているところですが、

お問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113 E-Mail: info@city.fukutsu.jp

「好いとおー福津」は皆さんといっしょに作るページです。21ページの市広報秘書課行はぎやメールなどで受け付けています。お送りいただいた原稿は、紙面の都合で、加筆、修正、短縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考しますので、掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんので、ご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。広報紙への感想や日々の暮らしのことなど、皆さんの声をお待ちしています。お問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113 E-Mail: info@city.fukutsu.jp

広報10月号の感想  
特集がよくまとまられていて良かった



コンパクトに4ページにまとめられていて分かりやすかったです。全体的にも8月号、9月号よりもページ数が減っていたので、経費、資源、ゴミの削減に尽力されているのだなと思いました。また、福津逸品のコーナーは良かったのでぜひ続けてほしいです。（Worldさん／手光／63歳）

まちづくり基本構想案を市民の皆さんに知っていただき、少しでも多くの人に意見を届けてほしいという思いで編集しました。文字が多くなってしまいました。ありがとうございました。また、福津逸品の

読者の声を中心に、みんなと広報広聴係で作る交流コーナーです。今月の題字は緑町区の甲斐翔大さんが書いてくれました。



## Readers Voice 読者の広場

広報10月号の感想  
「街角記者が行く」の話が役に立ちそう



高年齢者の多い津屋崎地区では、「街角記者が行く」で取り上げられた消費生活

コーナーでは「福津の極み」に登録されている、市ならではの食品や工芸品などを紹介しています。  
きっとこれから紹介していく商品の中には、これから福津に移り住んで来る人だけでなく、福津に住んでいても知らない商品があると思います。紙面を通して、商品をつくっている人のこだわりや熱い思いを伝え、ちよつとお店に行ってみようかなと思えるような記事を書いていきたいと思っています。

消費生活相談の特集で架空請求のハガキが大きく出て良かったです。  
それと、まちの話題の写真が大きく、はっきりしていたので読みやすかったです。（A1C6・8さん／宮司ヶ丘／65歳）  
消費生活トラブルはどこに潜んでいるか分かりません。高齢者を対象とした悪質商法が増加していますが、高齢者だけでなく、若い世代の人であっても注意が必要です。  
架空請求と言われても、当事者にならなければ「他人事だ」と関心を持たない人の方が多いのではないかと思います。そこで、市民に届いた架空請求ハ

自治会長に相談しても流される。どうすればいい？  
自治会に加入しているのですが、

ガキを大きく取り上げることにしました。実際に身近に起きている例を挙げると、自分にも起こり得ることだと思わないでしょうか。  
まちの話題の写真は、イベントやさまざまな取り組みを分かりやすくお知らせするために、私たち広報担当職員が現地で撮影したものがほとんどです。何をどんな角度で撮影するか、背景に何を写すのかなど、あらかじめイメージした上で撮影に望んでいます。  
まだまだ経験の浅い職員ばかりですが、読みやすかったと言っていた方がたくさんいます。大変励みになります。